

八尾が世界に誇る わがまちオペラ かわち歌しばい

「美男におわす八尾地蔵」プレ企画

おしゃべり製作発表 & 歌唱披露

参加無料

美男におわす八尾地蔵



「こんなに楽しいオペラ観たことない」
ってホンマ!? その真相が明らかに…!

8月24日公演、笑って泣けるかわちの人情オペラ「美男におわす八尾地蔵」の魅力やオペラ製作の裏側を、おしゃべり大好き!キャスト・スタッフが楽しくご紹介。「こんなに楽しいオペラ観たことない」の声続出の、本作のおもしろさを全力でお伝えします!特別ゲストには初演から亡者役の西垣俊朗さん、同じく初演からピアノ担当の藤江圭子さんをお迎えします。本作の思い出のお話をお聞きしながら、西垣さんによる名曲「亡者のアリア」他、キャストによる歌唱もご披露します。“八尾地蔵”のトリコになること間違いなし!のスペシャル企画です。



特別ゲスト

西垣俊朗 (初演から亡者役)
を7回務める

大阪音楽大学大学院修了。在学中よりテノール歌手、特にバッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」等エヴァンゲリスト歌いとして歌い続けている。オペラではモーツァルトやロッシーニの主演を東京オペラ・プロデュース、関西二期会、大阪音大オペラ・ハウス等で好演。「美男におわす八尾地蔵」亡者、「夕鶴」与ひょう、「金閣寺」柏木、「黄金の国」のろ作、「源氏物語」光源氏を好演。1984年度 神戸文化奨励賞、1994年度 兵庫県芸術奨励賞受賞。現在、関西二期会理事。

特別ゲスト

ピアノ
藤江圭子 (初演からピアノ)
を7回担当

相愛女子大学(現・相愛大学)音楽学部ピアノ専攻卒業。卒業後、武庫川女子大学音楽学部伴奏要員として45年勤務。2022年8月【演奏生活45周年記念コンサート】を開催。摂津音楽祭伴奏賞、第38回神戸灘ライオンズクラブ50周年記念特別音楽賞、第35回音楽クリティック・クラブ本賞受賞。



牧村邦彦
(指揮)



志賀山勢州
(演出・振付)



大久保充代
(八尾市文化会館館長)



唐谷裕子
(演出助手)



中川正崇
(亡者役)



晴雅彦
(地蔵役)



福嶋勲
(閻魔役)

令和7年 8月2日(土) 15:00~ 八尾市文化会館 プリズムホール
(2025) 16:15(予定) 5階 しせぷションホール

定員 70名(先着順)

お申込み 電話・申込フォーム
7月2日(水)am10:00~



お問合せ

プリズムホールチケットカウンター 〒581-0803 八尾市光町2-40
(9:00~19:00 月曜休館・祝祭日の場合翌平日)
TEL 072-924-9999 FAX 072-924-5010
E-mail infokikaku@prismhall.jp
ホームページ https://prismhall.jp/



八尾市芸術文化推進基本計画
施策7-①八尾の誇りとなる芸術
文化の継承・発展・創造



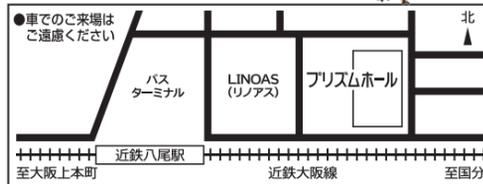
文化庁文化芸術振興費補助金
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

PRISM HALL

八尾市文化会館

ミッション:①創造性豊かな本物の作品がもたらす感動と生きる意欲
v舞台の感動を普及・啓発

【主催】(公財)八尾市文化振興事業団



作品の魅力をお届け
Pick up! Prism!
特別版

八尾が世界に誇る わがまちオペラかわち歌しばい 美男におわす八尾地蔵

**指揮・演出・演出助手の3人は
八尾出身者!!**

本作では、オペラ指揮者として国内各地で活躍する牧村邦彦さん、初演から演出・振付・プロデューサーを務めてきた舞踊家の志賀山勢州さん、そしてオペラ演出家として活躍する唐谷裕子さんの3名の八尾出身者がタッグを組みます。指揮の牧村邦彦さん、演出の志賀山勢州さんに伺いました。

こんなに上演を重ねる
地域オペラはない

牧村邦彦

— 意気込みをお願いします。

「やっと自分の番が回ってきた!という思いです(笑)作品が生まれた経緯や制作の歴史を知るにつけ、沢山の創作オペラの誕生に関わってきた私に、このタイミングで指揮が回ってきたことの御縁に感謝です」



左:志賀山先生、右:牧村先生

人間、一生懸命生きる
ことが大切

志賀山勢州

— この作品で伝えたいこと、大切にしたいことは?

「人間、一生懸命生きることが大切」ということです。人生いいことも悪いこともあるけれど、その時に自分の力を尽くすことが大事。命の大切さを後世に伝えていきたいです。この作品がその時代に合せて、いつまでも生き続けてほしいです。キャスト・スタッフが一生涯懸命にこの作品のために頑張ってくれていることを願っています」

プロフィール

日本舞踊志賀山流の舞踊家。八尾市日本舞踊協会会長。72年から12回にわたり、外務省及び国際交流基金の文化使節、舞踊親善大使として世界芸術フェスティバルなどで101回の海外公演を行う。せしゅうくくるの代表として舞台活動のほか、演劇、舞踊会、オペラ公演などの企画・構成・振付・演出等幅広く活動。'91年八尾市文化賞受賞。芸術大学客員教授。

登場人物&聴きどころ紹介

作品とテーマ
自分は善行というものには縁がないなあという亡者に、「どんな人でも一つくらいは良いことをしていなさるもんや」と地蔵は言います。相手のいいところを認め、受け入れることの尊さを解きますが、さて閻魔はどう裁きを下さるか…。
笑うて、泣いて、これがかわちの人情オペラや!!

お稽古も始まっています!!



多彩な音楽に応じたイメージを伝え、次々に指示を出していく指揮者とそれに応じていく歌手のみなさん。

亡者
酒呑みで女房を泣かせてばかり。玉串川に落ちて死んでしまう。

聴きどころ ♪亡者のアリア

自分がええ人間なんやと教わり、亡き母に歌う名曲。しみじみと心に響くメロディと歌詞に、ホロリと涙する前半のハイライト。



和物もコメディもお任せあれ!
師匠より役を受け継いだ
中川正崇さん

地蔵

慈悲深く、チャーミングで美男子。八尾の常光寺のご本尊で、日本の三地蔵の一つと言われる。

聴きどころ ♪地蔵のロック

作品最大の見せ場となる必見のお楽しみシーン♪オペラの常識も、お地蔵さまのイメージも、180度覆す衝撃の展開に!?



唯一無二の魅力でタイトルロール
はこの人しかいない!!
晴雅彦さん

閻魔

威厳に満ち、正義公正。地蔵と過去に何かがあったらしい…

聴きどころ ♪閻魔のアリア

亡者が携えていた地蔵の文を読み、懐かしく恋しい地蔵との思い出がよみがえる。二人の関係性が次第に明らかになるシーン。



重々しい登場シーンと後半の
ギャップがたまらない!
福嶋勲さん

美男におわす八尾地蔵関連企画

「八尾地蔵のルーツをたどる」まち歩き

「美男におわす八尾地蔵」の公演日と同日の、年に1度の「地蔵盆」の時にだけ開帳されている常光寺のご本尊(八尾地蔵)を拝顔し、付近一帯の古くから栄え歴史エピソードがもりだくさんの(八尾寺内町)をご案内します。

8月24日(日) 10:00 集合 近鉄八尾駅改札前
12:00 解散 和菓子の老舗<與兵衛桃林堂>

※希望者にはランチの予約サービス有(指定店舗に限る)

■ガイド 八尾市観光ボランティアガイドの会

■料金 300円(保険料・当日現金でお支払)

■申込受付 8月1日(金)~(定員(15名)に達し次第終了)

■申込先

□webからのお申込み

<https://forms.gle/Ay7ZdBBwEfgyVwtM9>

□電話でのお申込み

・八尾市観光ボランティアガイドの会 072-934-2081

(火~金 11:00~16:00)

・プリズムホールチケットカウンター 072-924-9999

(月曜休 9:00~19:00)



8月24日(日) 14:00開演
八尾市文化会館 プリズムホール 大ホール

■料金(全席指定・税込/当日各300円増)■

	一般	割引
S席	6,000円	4,800円
A席	5,000円	4,000円
B席	3,000円	1,500円

※割引は障がいのある方とその介添えの方(1名様まで)と25歳以下(要証明書)。

■お問合せ■

プリズムホール

チケットカウンター

072-924-9999

(9:00~19:00 月曜休館)

チケット
好評発売中



桂吉弥

公演情報
八尾が世界に誇る わがまちオペラかわち歌しばい
美男におわす八尾地蔵
落語 桂吉弥
地獄八景七者戯